

令和7年度

「運営に関する計画」

大阪市立鶴町小学校

## 大阪市立鶴町小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

令和7年度までに鶴町小学校の地盤となるべき項目を積み重ね、鶴町小学校文化を更に拡大充実させていくことを中期目標の柱とし、課題としては以下の項目が挙げられる。

**【児童が安心して楽しく通える学校づくり】**

近年は新型コロナウイルス感染症の影響により、短縮授業や休業となる期間が発生し、感染への不安から登校を控える児童もいた。これまでにない様々な状況の変化も一つのきっかけとなり、不登校傾向となる児童が増えたと考えられる。児童が安心して学校に通えるよう、学級活動・異学年集団活動や体験的な学習を充実させ、毎日楽しく通える学校づくりを目指す必要がある。

また、いじめアンケートの結果からは、「友達からいやなことをされる(言われる)」という回答が見られる。学校が認知した事案に対しては、担任だけではなく複数の教職員で対応し、解消を目指していく。

**【学力の向上】**

全国学力・学習状況調査や学力経年調査の結果を分析すると、文章を読み取ることが難しく、問題の意味を十分に理解できていないために解答できない児童も多いことも見えてきた。そのため、学力の基礎となる「文章を読み取る力」を身に着けるため、国語科の指導の工夫や言語活動の充実を図ってきた。更に、児童が主体的・対話的な学習を行えるよう、指導者の授業力向上を目指す。

低学年から外国語に親しむ時間を設定し、3年生以上における外国語の授業においては、より充実した学習となるよう、専門的な知識・技術をもつ外部人材(C-NET含む)の活用を積極的に行う。

**【体力の向上】**

新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に児童の体力が低下しており、回復には数年かかる見通しである。引き続き「なわとびチャレンジ」「マラソンチャレンジ」など、運動に親しむ機会を充実させ、児童の運動に対するの興味・関心を高めるとともに、目標を達成した喜びを味わえるようにする。

**【ICT機器の活用】**

主体的・対話的で深い学びをすすめるため、一人一台端末の積極的な活用を図る。どの教員も授業でICT機器をスムーズに活用できるよう、外部講師などによる校内研修を充実させる。

**【教職員のゆとり確保】**

年間を通して児童へのより良い授業・指導を行うには、教職員も時間的・精神的な余裕を持つことが必要である。そのため、教職員のゆとりの日(放課後に会議等の無い日)を設定したり、年次休暇取得を促進したりする。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を毎年増加させる。
- 令和7年度の児童アンケートにおける「学校は楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の児童アンケートにおける体験的な学習に関する問いに対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を、40%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も毎年1ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の75%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
- 令和7年度において年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合（50%）を増加させる。
- 令和7年度の児童アンケートにおける「学校は楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の児童アンケートにおける体験的な学習に関する問いに対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を、40%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も毎年1ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
- 令和7年度において年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。

### 3 本年度・中期目標の自己評価結果の総括

#### 【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査での「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答した児童の割合（全学年）は、91.3%（3年生92.3%、4年生92.3%、5年生88.2%、6年生92.3%）であった。学年によっては達成できていないが、全体では年度目標、中期目標の90%以上を上回った。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合は、62%（13人/21人）となり、改善の兆しは見えているが十分とは言えない。中期目標である、改善の割合をについては、毎年増加している。
- 児童アンケートにおける「学校は楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、5月が96%（208人/217人）、10月が96%（212人/220人）、1月が97%（215人/222人）となっており、いずれも年度目標、中間目標数値（90%以上）を上回った。
- 児童アンケートにおける体験的な学習に関する問いに対して、肯定的に回答する児童の割合は、5月が97%（211人/217人）、10月が96%（212人/220人）、1月が99%（220人/222人）となっており、年度目標、中間目標数値（90%以上）を大きく上回った。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合は、3年が71.8%、4年が65.4%、5年が32.4%、6年が71.8%であり、全体で60.4%となった。学年によっては達成できていないが、全体では年度目標、中期目標の40%以上を上回った。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較すると、国語はどの学年も前年度よりも下回り、算数は6年生のみ0.8ポイント上回ったが、目標の1ポイントには達していない(表1)。しかし、平均正答率は大阪市と概ね変わらない。
- 中期目標に関しては、国語の標準化得点の4学年の平均が96（令和4年度）から99（令和7年度）に、算数の標準化得点の4学年の平均が96（令和4年度）から98（令和7年度）になり、同一学年の比較ではないが、年度ごとに向上している。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は、3年が79.5%、4年が88.5%、5年が64.7%、6年が82.1%であり、全体で78.7%となった。学年によっては達成できていないが、全体では年度目標、中期目標の70%以上を上回った。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- 4月から1月までの145日間、児童(在籍から欠席児童を省いた人数)が学習者用端末を活用した割合が8割を超えたのは96日間、7割を超えたのは129日間、使用率の平均は83.7%だった。授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数は年間授業日の66%となり、目標の50%以上となった。ただし、中期目標の75%には届かなかった。
- 2月末までに年次有給休暇を10日以上取得した教職員の割合は96%であり、年度目標、中期目標の90%を上回った。

## 大阪市立鶴町小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した  
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>○ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合(50%)を増加させる。</p> <p>○ 令和7年度の児童アンケートにおける「学校は楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>○ 令和7年度の児童アンケートにおける体験的な学習に関する問いに対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>・いじめアンケートにおいて認知した事案に対して、児童への聞き取り・指導を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・いじめアンケートを学期に1回実施する。</p> <p>・道徳科において、仲間づくりに関する項目の学習を年1回実施する。</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>・学級活動や異学年集団活動において、実施方法・内容を工夫し、交流の楽しさを感じられるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・異学年と交流する機会を学期に3回実施する。</p> <p>・全校児童が参加する「つるまち万博」を年1回実施する。</p>	A
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>・文化や芸術、自然の素晴らしさに触れる体験的な活動を充実させ、思いやりの心や美しいものに感動する感性を育む。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・芸術や文化、自然に触れられる行事や学習を年に3回実施する。</p>	A
<p>中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p><b>【年度目標の達成状況】</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査での「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答した児童の割合(全学年)は、91.3%(3年生92.3%、4年生92.3%、5年生88.2%、6年生92.3%)であり、全体で9</p>	

1. 0%となった。学年によっては達成できていないが、全体では年度目標・中期目標の90%以上を上回った。

- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合は、62%（13人／21人）となり、改善の兆しは見えているが十分とは言えない。中期目標である、改善の割合をについては、毎年増加している。
- 児童アンケートにおける「学校は楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、5月が96%（208人／217人）、10月が96%（212人／220人）、1月が97%（215人／222人）となっており、いずれも年度目標・中期目標数値（90%以上）を上回った。
- 児童アンケートにおける体験的な学習に関する問いに対して、肯定的に回答する児童の割合は、5月が97%（211人／217人）、10月が96%（212人／220人）、1月が99%（220人／222人）となっており、年度目標・中期目標数値（90%以上）を大きく上回った。

#### 【取り組みの進捗状況】

##### （取組内容①）

- ・ いじめアンケートは、1学期5月12日～16日、2学期10月7日～10日、3学期は2月2日～6日に実施した。
- ・ 道徳科の仲間づくりに関する学習の実施内容について
  - 1年 「なかよし」「がっこうへいくとき」
  - 2年 「本がかりさん がんばってるね」「およげないりすさん」
  - 3年 「さと子の落とし物」
  - 4年 「いじりといじめ」
  - 5年 「古いバケツ」
  - 6年 「言葉のおくりもの」

##### （取組内容②）

- ・ 異学年と交流する活動は、児童集会を中心として実施している。  
1学期は4回、2学期は7回、3学期5回実施することができた。
- ・ 「なかよし集会(つるまち万博)」は、6月19日に実施した。実施前には、準備や練習をする活動にも取り組み、交流をさらに深めることができていた。
- ・ ふれあい清掃を11月12日に実施した。町会ごとに協力して、3つの公園を清掃することができた。

##### （取組内容③）

- ・ 芸術や文化、自然に触れられる行事や学習を次のように実施した。
  - 玉ねぎの収穫 4年…5月28日 5年…5月16日
  - とうもろこしの種まき 2年…5月12日 3年…5月1日 4年…5月14日
  - さつまいもの苗植え 1年、2年…6月12日
  - じゃがいもの収穫 3年、6年…6月20日
  - 大根の種まき 1年…9月30日 2年…9月29日 3年…9月26日  
4年…9月24日 5年…9月24日・25日 6年…9月26日

○さつまいもの収穫 1・2年…10月29日  
 ○玉ねぎの苗植え 3年…11月13日、4年…11月14日  
 ○大根の収穫 1・3年…1月14日 2・4・5年…12月23日 6年…1月13日  
 遠足 1年…5月28日、11月5日 2年…5月20日、11月5日  
 3年…5月16日、11月7日 4年…5月13日、11月7日  
 5年…5月20日、10月31日 6年…11月27日  
 ○修学旅行(6年)…5月22日・23日  
 ○林間学習(5年)…7月23日・24日・25日  
 ○こころの劇場(6年)…10月27日 ○芸術鑑賞会 1～6年…11月11日  
 ○社会見学「大阪歴史博物館」(6年)…1月30日  
 ○社会見学「くらしの今昔館」(3年)…2月4日  
 ○お月見の会…10月22日 ○学校おはなし会(1・2・3年生)…11月26日  
 ○作品展…12月16日～19日

#### 次年度への改善点

- ・ 児童の人権意識向上のため、仲間づくりに関する道徳科の学習や人権の学習に計画的に取り組んでいく。
- ・ 異学年交流をする実施内容を精選していく。
- ・ 不登校児童の改善についての取り組みを検討していく。
- ・ 地域の方や理科補助員など専門的な知識を持った方々の協力や出前授業の活用で、野菜の種まきや苗植え、収穫体験や、科学実験などを中心に、様々な体験活動を行うことができた。来年度も引き続き、連携していく。
- ・ 引き続き、芸術や文化、自然に触れられる行事や学習を計画し、実施する。

## 大阪市立鶴町小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した  
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を40%以上にする。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。</p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「つるまちチャレンジ」を実施し、児童の学習に対する意欲を高め、自主的に学習を進める態度と基礎的・基本的な学力の定着を図る。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「つるまちチャレンジ」を年2回実施する。</li> </ul>	B
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「運動チャレンジ」を設定し、児童の運動に対する興味・関心を高めるとともに、目標を達成した喜びを味わえるようにする。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「運動チャレンジ」を年3回実施する。</li> </ul>	B

## 中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

<p><b>【年度目標の達成状況】</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合は、3年が71.8%、4年が65.4%、5年が32.4%、6年が71.8%であり、全体で60.4%となった。学年によっては達成できていないが、全体では年度目標・中期目標の40%以上を上回った。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較すると、国語はどの学年も前年度よりも下回り、算数は6年生のみ0.8ポイント上回ったが、目標の1ポイントには達していない(表1)。しかし、平均正答率は大阪市と概ね変わらない。</p>
--

(表1) 小学校学力経年調査平均正答率の対大阪市比

	国語			算数		
	R6年度	R7年度	前年度との差異	R6年度	R7年度	前年度との差異
3年	-	100.5		-	99.6	
4年	104.9	96.2	-8.7	105.3	96.7	-8.6
5年	96.7	96.6	-0.1	95.1	94.3	-0.8
6年	101.2	100.9	-0.3	98.8	99.6	0.8

○ 中期目標に関しては、国語の標準化得点の4学年の平均が96（令和4年度）から99（令和7年度）に、算数の標準化得点の4学年の平均が96（令和4年度）から98（令和7年度）になり、同一学年の比較ではないが、年度ごとに向上している。

○ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は、3年が79.5%、4年が88.5%、5年が64.7%、6年が82.1%であり、全体で78.7%となった。学年によっては達成できていないが、全体では年度目標、中期目標の70%以上を上回った。

**【取り組みの進捗状況】**

(取組内容①)

- ・ 「つるまちチャレンジ」を次のように実施した。

「漢字チャレンジ」(2～6年)…7月上旬と12月中旬のチャレンジ期間中の計2回。

※1年は、12月中旬のチャレンジ期間中の1回。

「計算チャレンジ」(1～6年)…7月上旬と12月中旬のチャレンジ期間中の計2回。

(取組内容②)

- ・ 「運動チャレンジ」を下記の通り学期に1回実施した。

「運動チャレンジ」

実施期間…5月26日(月)～30日(金)5日間

ねらい…「児童の運動に対する興味・関心を高め、運動の習慣を意識づけることにより、健康の保持増進につながる体づくりをできるようにする。

児童目標…「1日1回は体を動かして遊ぶ」

「なわとびチャレンジ」

実施期間…11月10日(月)、12日(水)～14日(金)4日間

ねらい…寒い時期でも外に出て運動する習慣をつける。

なわとび運動への関心を高め、継続的に運動を行うことで体力の向上を図る。

児童目標…「自分たちの記録を超える」

「マラソンチャレンジ」

実施期間…5・6年…1月19日(月)～23日(金)5日間

1～4年…1月26日(月)～30日(金)5日間

ねらい…体の調子を整え、体力を高める。

寒い時期でも外に出て運動する習慣をつける。  
児童目標…「自分の記録を超える」

次年度への改善点

- 引き続き、児童の学習意欲を高められるような取り組みを行っていく。
- 引き続き、「運動チャレンジ」を実施する。

## 大阪市立鶴町小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した  
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【学びを支える教育環境の充実】</b> ○ 令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕。 ○ 令和7年度において年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)】 ・ ICTの環境を整え、学習の充実に努める。(タブレット活用、オンライン学習等)	B
指標 ・ 情報モラルについての学習を年1回行う。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・ 働き方改革を進め、ゆとりをもって職務に専念できるようにする。	B
指標 ・ 教職員のゆとりの日を、週1回設定する。	

## 中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

## 【年度目標の達成状況】

- 4月から1月までの145日間、児童(在籍から欠席児童を省いた人数)が学習者用端末を活用した割合が8割を超えたのは96日間、7割を超えたのは129日間、使用率の平均は83.7%だった。授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数は年間授業日の66%となり、年度目標の50%以上となった。ただし、中期目標の75%には届かなかった。
- 2月末までに年次有給休暇を10日以上取得した教職員の割合は96%であり、年度目標、中期目標の90%を上回った。

## 【取り組みの進捗状況】

## (取組内容①)

- ・ 情報モラルについての学習を次のように実施した。
 

1年…9月16日「タブレットの使い方」	2年…12月15日「LINEの使い方」
3年…6月13日「使いすぎているかな」	4年…11月17日「SNSの使い方」
5年…12月2日「SNSの使い方」	6年…9月26日「情報に関わる権利の話」

## (取組内容②)

- ・ 教職員のゆとりの日を、週1回設定した。

次年度への改善点

- 「心の天気」の入力など児童の学習者用端末の活用を推奨し、朝学習等で入力する時間の確保も行っていく。また、情報モラルについての学習も引き続き行っていく。
- ゆとりの日を週1回設定していけるよう、継続して行事や会議の精選を行っていく。

## 令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立鶴町小学校 学校協議会

## 1 総括についての評価

- 学力は、目標を達成していない項目もあるが、大阪市平均に近く、今後も継続して取り組んでほしい。
- 学年によるばらつきは改善できるよう、すすめてほしい。

## 2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査での「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答した児童の割合は3年生で92.3%、4年生が92.3%、5年生が88.2%、6年生92.3%であり、全体で91.3%であった。全体では目標の90%以上を上回った。</li> <li>○ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合は、62%となり、改善の兆しは見えているが、十分とは言えない。</li> <li>○ 児童アンケートにおける「学校は楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、5月が96%、10月が96%、1月が97%となっており、いずれも年度目標数値を上回った。</li> <li>○ 児童アンケートにおける体験的な学習に関する問いに対して、肯定的に回答する児童の割合は、5月が97%、10月が96%、1月が99%となっており、年度目標数値を大きく上回った。</li> </ul>
年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合は、3年が71.8%、4年が65.4%、5年が32.4%、6年が71.8%であり、全体で60.4%となった。学年によっては達成できていないが、全体では目標上回った。</li> <li>○ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較すると、国語はどの学年も前年度よりも下回り、算数は6年生のみ0.8ポイント上回ったが、目標には達していない。しかし、平均正答率は大阪市と概ね変わらない。</li> <li>○ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は、3年が79.5%、4年が88.5%、5年が64.7%、6年が82.1%であり、全体で78.7%となった。学年によっては達成できていないが、全体では目標を上回った。</li> </ul>
年度目標：学びを支える教育環境の充実
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4月から1月まで、児童が学習者用端末を活用した割合が8割を超えたのは96日間、66%となり、目標を上回った。</li> <li>○ 2月末までに年次有給休暇を10日以上取得した教職員の割合は96%で、目標を達成した。</li> </ul>

## 3 今後の学校園の運営についての意見

今後も、子どもたちの成長のために、学校と地域が連携してできる取り組みを模索し、協力して取り組んでいく。